

第2部会委員からの意見提出一覧（12月7日・8日提出分）

No.	意見分野	意見区分	意見内容
1	環境 医療・健康 福祉	B「目指すべきまちの姿」	<p>○SDG s について</p> <p>17の目標、および169の小目標からなるSDG s（持続可能な開発目標）は、2015年、ニューヨーク国連本部での国連総会で採択されました。正確にいうと、採択されたのは、「持続可能な開発に関する2030アジェンダ」です（アジェンダは、議題、政策目標、指針といった意味です、以下「アジェンダ」と略します）。「アジェンダ」は、前文でSDGs設定の経緯について述べ、『no one will be left behind(一人として置き去りにしない)』という原則を宣言しています。また、経済、社会、環境の3本柱を統合的に考える必要性を強調しています。「アジェンダ」では、こうした記述に続き、17の目標、169の小目標が列記されています。</p> <p>いま、自治体や企業によるSDG s への取り組みが広がっていますが、そもそもSDG s 策定の基本にあった精神が忘れられがちです。それは、かみくだいていえば、誰も置き去りにしない、皆で歩もうということであり、たとえば「環境」を考える時には、社会や経済の在り方とともに広い意味で考え直すということになります。</p> <p>第二部会での議論では、一人暮らしの高齢者や子供も来られる居場所を作ろうとか、ぎりぎりの状態で親の介護や子育てに従事する支援者（ケアラー）を少しずつでも支援できないか、といった声があがっていました。委員の皆さんが模索している方向は、SDG s が目指すものと同じであるといえます。</p> <p>なお、11月27日の会議での他の委員のご発言「SDG s をわかりやすい日本語で言い換えられないものだろうか」には、全面的に賛同します。</p>
2	環境	C「取組の基本的な方向性など」	<p>○循環型社会づくりについて</p> <p>11月27日にご紹介のあった、家庭の廃油回収や食品ロスの削減の取り組みは、非常に良いスタートを切られていると思います。今後、これを伸ばしていく、という姿勢を基本構想に盛り込むべきと思います。</p> <p>その際に、現時点での方法に満足せず、全国の例などを参考に、杉並区独自の取り組みの形に育てていくという方向を盛り込んだらいかがでしょうか。</p> <p>例えば廃油の回収についていえば、いまはある会社に委託し、石けんにしたり、バイオ燃料にしたりしていると聞きました。回収した天ぷら油などから作った燃料で超低速のミニバスを走らせるなど、「見える化」して大勢の区民を巻き込んでいく工夫も大事だと思います。</p> <p>レストランなどから出る「廃油」は産業廃棄物であり、市区町村のごみ行政の外にあるものです。しかしながら、一般廃棄物と産業廃棄物を区別した現在の制度をめぐるには様々な議論もあります。すぐには無理ですが、より柔軟な頭で、廃棄物、リサイクル、循環型社会の形成を考えていく必要があります。市民と区議会のイニシアティブで始まった取り組みを大きく育てていくという方向性を、基本構想に盛り込んでほしいと思います。</p>

No.	意見分野	意見区分	意見内容
3	環境	C「取組の基本的な方向性など」	<p>○先日の話し合いが行われた「生物多様性」に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杉並区の生物多様性地域戦略を策定する。 ・森林環境譲与税を生かし、交流自治体の青梅市に生物多様性が保たれた杉並の森をつくる。
4	医療・健康	C「取組の基本的な方向性など」	<p>ICT技術の医療分野への効率的な導入が今後十年で必要になると思う。</p> <p>部会でも実際に意見が出されたマイナンバーと紐付けたデータベースの一元化と併せて、以下の意見を提出したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースの研究への活用 <ul style="list-style-type: none"> 各個人の症状、疾患、処方履歴、経過がデータとして残っているなら、どのような治療が有効であるかデータを集めることができ、医療の発展に貢献できるのではないか。 ・オンライン診療の充実 <ul style="list-style-type: none"> 慢性疾患による継続的な服薬や精神科のカウンセリング等、実際に病院に向いて診療を受ける必要のない人にはオンラインで対応する。 ・オンラインの「総合診療科」の設立 <ul style="list-style-type: none"> 区としてオンライン上または電話で「総合診療科」のプラットフォームを立ち上げ、どの病院に行けばよいかわからない患者や、病院に行く必要があるか迷っている患者、事情があり通院出来ない患者、感染症の恐れがあり直ちに来院すべきではない患者などに対応できるのではないか。 ・病院の予約状況や混雑状況もデータベース化して整理 <ul style="list-style-type: none"> 区内の病院の予約状況、混雑状況が一つのページで把握でき、空いているところを選ぶことができると医療負担の集中を回避できるのではないか。 ・外国人への対応環境を充実させる <ul style="list-style-type: none"> チャットでの相談対応を行うことで、どの国の人も利用しやすくなるのではないか？